

海外展開事例「奥出雲町産・仁多米コシヒカリを原料とした甘酒・どぶろく・清酒の開発・海外展開」

社名	奥出雲酒造 株式会社（島根県奥出雲町）
設立	平成16年
資本金	100百万円
売上高	180百万円（平成27年9月期）
従業員	10名
事業内容	清酒・どぶろく・甘酒等の製造・販売



新たな事業展開を目指した背景と経緯

- 平成16年の会社設立以来、奥出雲町産・酒造好適米を主な原料として、清酒等の製造・販売を行ってきた。
- 酒造好適米の調達拡大が見通しにくい中で、ブランド食米である仁多米コシヒカリを使用した商品開発に着想を得た。
- 技術的な難易度を考慮して、甘酒、どぶろくの製造より着手し、「しまね地域資源産業活性化基金助成金事業」の採択を受けて、商品のブラッシュアップを行った。
- 甘酒、どぶろくのテストマーケティングを経て、本格的な事業展開を図るべく、事業計画を検討し地域資源活用事業の法認定を目指した。
- 法認定後、更なる商品開発として、仁多米コシヒカリを原料にした清酒の開発に取り組んだ。

活用施策

- しまね地域資源産業活性化基金助成金事業（平成24年6月）
- 地域産業資源活用事業（平成26年2月）
（認定事業名：「仁多米コシヒカリと清酒製造技術を活用した、どぶろく及び甘酒の開発・販売」）
- 中小機構専門家によるハンズオン支援（平成26年2月～現在）
- 中小機構主催の商談会活用 ●島根県の施策活用

事業展開

< 国内 >

- 中小機構主催の商談会を活用した販路開拓
 - ・「伊藤忠食品商談会」「旅館100選」等に出席。
 - 小売業、ホテル、旅館への販路開拓を積極的に実施。

< 海外 >

- 中小機構・地域活性化パートナー企画「沖縄大交易会」に出展し、東南アジアへの販売ルートを開拓。
- アメリカ・ハワイで行われた「全米日本酒歓評会2015」に出品。
- アメリカ・ロサンゼルス、ハワイなどで、島根県フェアの商品として甘酒を販売。

事業成果

< 国内 >

- 仁多米コシヒカリの商品の売上増加
 - ・仁多米コシヒカリを活用した甘酒・どぶろく、新たに開発した清酒3商品、全て順調に売上を伸ばし新たな事業の柱となった。

< 海外 >

- 「全米日本酒歓評会2015」で「仁多米コシヒカリ純米大吟醸」が金賞受賞。
- 東南アジアへの販売ルートの構築に成功。
- 今後は、醸造酒を飲む習慣のある中華系住民を主なターゲットとして手堅く販路開拓を推進。アジア圏での足場を固めた上で、欧米への展開を検討。